保証書

加湿空気清浄機保証書

持込修理

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型　名	PD-AS12
●お客様 お名前	☎
ご住所　〒	
●お買い上げ日　年　月　日	●販売店名・住所
保証期間 お買い上げ日より **本体1年**	☎

修理メモ

●印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

1. ご転居、ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にお申しつけください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ)使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
   (ロ)お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
   (ニ)一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車輌、船舶へのとう載）に使用された場合の故障および損傷。
   (ホ)本書のご提示がない場合。
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
   (ト)消耗部品の交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511　大阪市北区天満1丁目20番5号　☎(06)6356-2391

愛情点検

長年ご使用の加湿空気清浄機の点検を！

こんな症状はありませんか
- ●水もれする
- ●キーを押しても運転しない
- ●コードを動かすと通電したり、しなかったりする
- ●ファン回転中に異常な音や振動がする
- ●本体が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする
- ●その他の異常や故障がある

ご使用中止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、キーを切り、コンセントから差込みプラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

PD-AS型　Ⓒ Ⓑ Ⓐ

ZOJIRUSHI

家 庭 用

卓上専用

加湿空気清浄機

型名 PD-AS12 型

取扱説明書

●このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保存してください。

もくじ

保証書つき

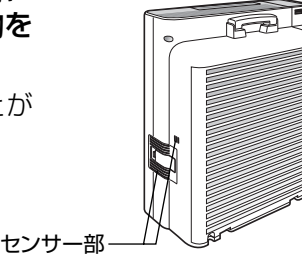
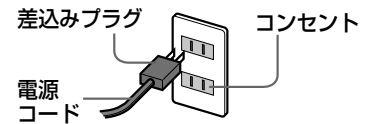
安全上のご注意　必ずお守りください

- ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠警告　取り扱いを誤った場合、死亡または重傷※1を負うことが想定される内容を表します。

⚠注意　取り扱いを誤った場合、傷害※2または物的損害※3の発生が想定される内容を表します。

※1　重傷とは、失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2　傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど・感電などをさします。

注 意　△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な注意内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

禁 止　⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な禁止内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

指 示　●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。具体的な指示内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

※3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■お買い上げの製品と本書に記載されているイラストは異なる場合があります。
■P.5「設置場所について」の項もお読みください。

⚠警　告

分解禁止
改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水ぬれ禁止
水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

禁 止
部品を乳幼児などが誤って飲み込まないようにする
けがの原因になります。

禁 止
交流100V以外では使用しない
火災・感電・故障の原因になります。

禁 止
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
感電・けがをする恐れがあります。

禁 止
お手入れに塩素系、酸性タイプの洗剤は使わない
洗剤が残り有毒ガスが発生し、健康を害することがあります。

禁 止
センサー部のすき間にピンや針金など、異物を入れない
感電やけがをすることがあります。

禁 止
電源コードを傷つけない
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁 止
電源コードや差込みプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

プラグを抜く
お手入れの際は必ず差込みプラグをコンセントから引き抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない
感電やけがをすることがあります。

必ず実施
定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

必ず実施
差込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく
火災の原因になります。

必ず実施
差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

⚠注　意

火気禁止
可燃性のものや火のついたタバコ・線香などは吸わせない　発火することがあります。

禁止
使用中や停止直後は、お手入れをしない
感電・けが・故障の原因になります。

禁止
ベンジン・シンナーでふいたり、殺虫剤をかけたりしない
ひび割れ・感電・引火の恐れがあります。

禁止
機械油など油成分が浮遊している場所では使わない
ひび割れや持ち運ぶときに手がすべってけがをする恐れがあります。

プラグを抜く
使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

必ず実施
燃焼器具と併用して使用する場合は、換気する
一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

必ず実施
タンクの水は毎日新しい水道水と入れかえ、本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れする
お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。体質によっては、過敏に反応し、健康に良くないことがあります。

必ず実施
トレーの水をすてるときは必ず本体からトレーをはずす
故障の原因になります。

必ず実施
差込みプラグを引き抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く
感電やショートして発火することがあります。

必ず実施
吸込口や吹出口に指やピン・針金などの異物を入れない
けがや故障の原因になります。

お願い

■浴室など湿気の多い場所で使用しない
感電および故障の原因になります。

■室内くんじょうタイプ（発煙型）の殺虫剤を使用する場合は、その室内に製品を置かない
■殺虫剤を使用した場所では、十分換気してから運転する
本体内部に薬剤成分が蓄積し、その後吹出口から放出されて健康によくないことがあります。

■製品を移動させるときは運転を停止し、タンクをはずしてトレーの水をすてる
水がこぼれて家財などをぬらしたり、異音や故障の原因になります。

■製品を引きずって移動させない
床面などに傷がつく恐れがあります。

■吸込口や吹出口をカーテンやタオルなどでふさがない　感電および故障の原因になります。

■落とす・ぶつけるなどの衝撃を与えない
故障・破損の原因になります。

■製品を傾けない
水がこぼれて家財などをぬらしたり、故障の原因になります。

■お手入れの際、トレーについている部品(フロート)をはずしたり、上に持ち上げたままの状態にしない
給水ランプが正しく表示しません。

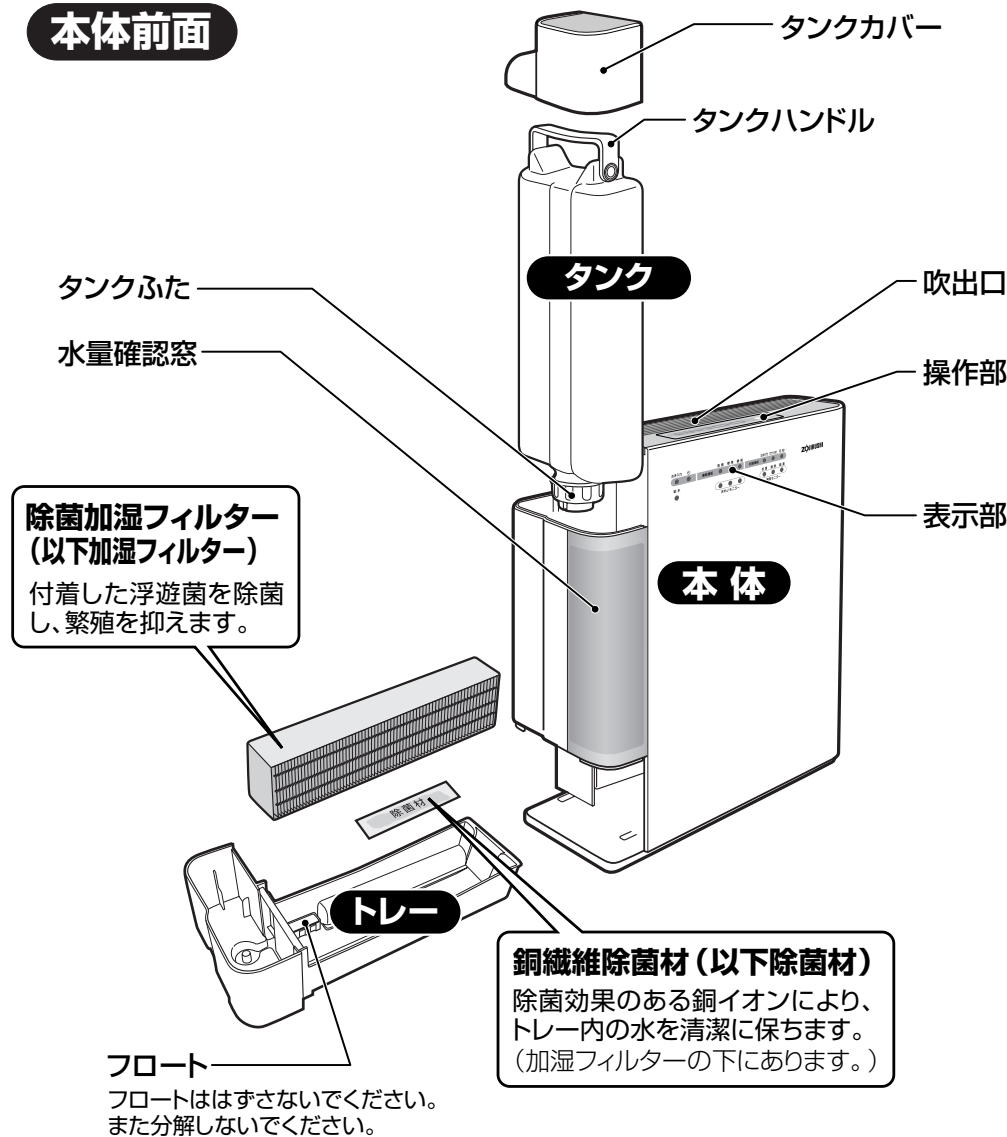
■凍結する恐れのある場所に長時間放置する場合は、必ずタンクおよびトレー内の水を完全にすてる
凍結による故障の原因になります。

■空気清浄機は換気扇ではありません。ご使用中は、必ず定期的に新鮮な空気との換気が必要です。
限られたスペースの「お部屋の空気（におい・ホコリなど）」をきれいにする「空気清浄機」ですが、調理や暖房などで汚れたお部屋の空気と新鮮な外気を入れかえる「換気」はできません。

■常時発生し続けるにおい成分（建材臭・ペット臭）はすべて除去できるわけではありません。

■タバコの有害物質（一酸化炭素など）は、除去できません。

各部のなまえ

本体前面

Ag^{+}除菌脱臭フィルター

除菌効果
試験機関：（財）日本紡績検査協会
試験方法：JIS L1902 に基づく
除菌の方法：Ag^{+}
除菌の対象部分：脱臭フィルター
試験結果：99.9%の除菌効果

防カビ効果
試験機関：（財）日本食品分析センター
試験方法：JIS Z2911 に基づく
防カビの方法：Ag^{+}
防カビの対象部分：脱臭フィルター
試験結果：試料または試験片の接種した部分に菌糸の発育が認められない

抗ウイルス効果
試験機関：（財）日本食品分析センター
試験方法：ウイルスをフィルターに添加し、活動の抑制率を測定
抗ウイルスの方法：Ag^{+}
抗ウイルスの対象部分：脱臭フィルター
試験結果：99.0%の抗ウイルス効果

除菌加湿フィルター

試験機関：（財）日本紡績検査協会
試験方法：JIS L1902 に基づく
除菌の方法：ピリジン系化合物
除菌の対象部分：加湿フィルター
試験結果：99.9%の除菌効果

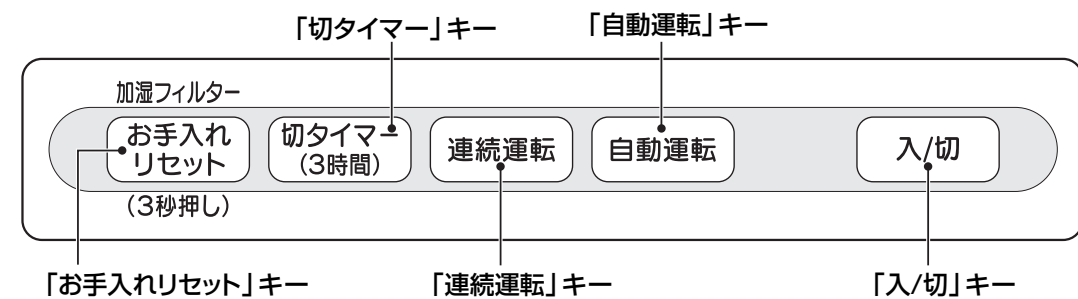
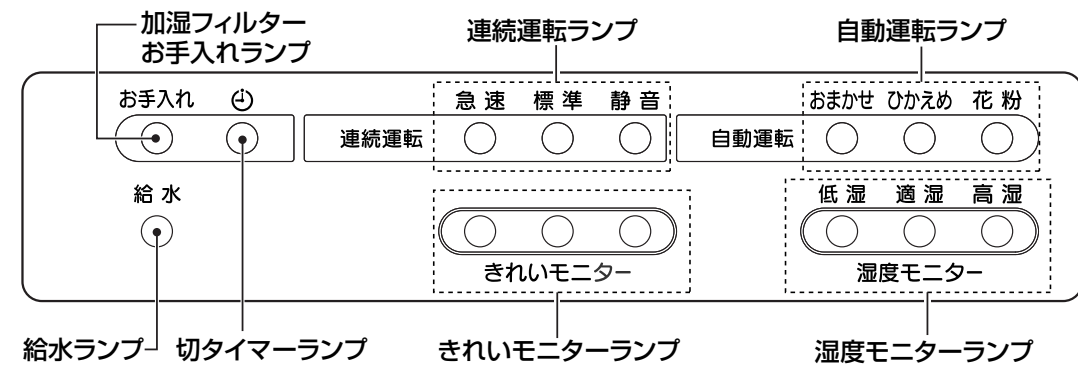
銅繊維除菌材

試験機関：（財）日本食品分析センター
試験方法：SCDLP寒天平板培養法に基づく
除菌の方法：銅イオン
除菌の対象部分：銅繊維除菌材
試験結果：99.0%の除菌効果

本体背面

Ag^{+}除菌脱臭フィルター
（以下脱臭フィルター）
においを取ります。
また、フィルターにキャッチしたウイルスの活動を抑制し、雑菌・カビ菌を除去します。

ポリフェノール高集じんフィルター
（以下集じんフィルター）
超微粒子のホコリなどを集めます。
また、フィルターにキャッチした花粉やダニの死がいの作用を抑制します。
試験機関：広島大学大学院先端物質研究科
試験方法：ELISA法

操作部

表示部

設置場所について

■空気の循環が良く、風や熱の影響を受けにくい場所に設置してください。

■吸込口や吹出口の近くに障害物が無い場所に設置してください。壁や家具などから30cm以上離してください。

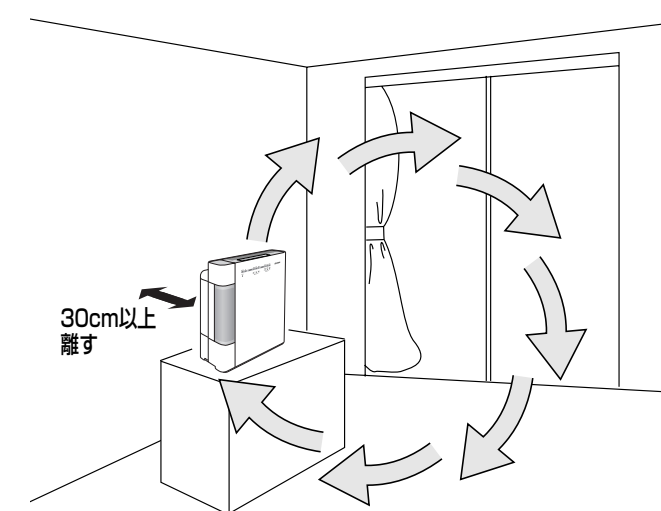
■次のような場所では使用しないでください。

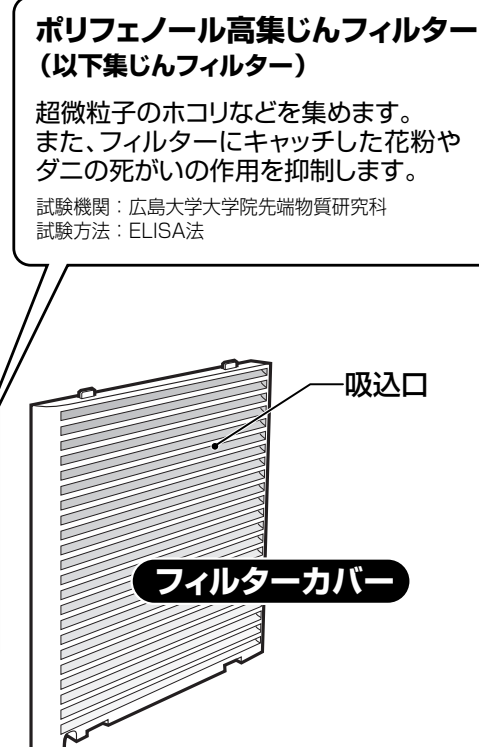
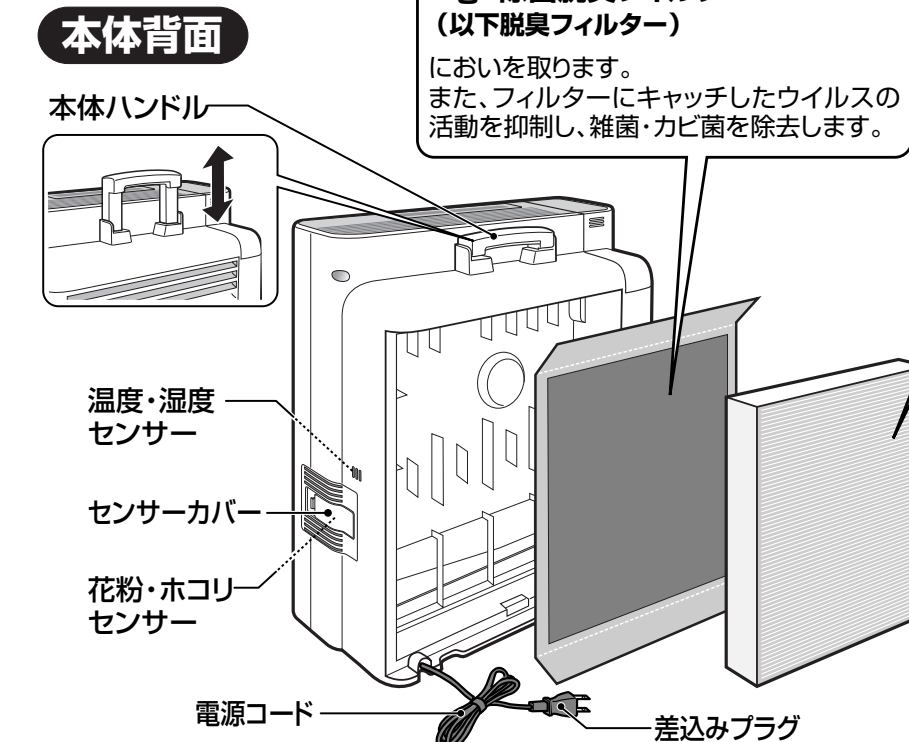
●設置面が不安定な場所
設置面が水平でないと製品が振動したり、水がこぼれることがあります。

●暖房器具の近くや、直射日光の当たる場所
センサーが正常に動作しないことがあります。また、故障や変形・変色することがあります。

●壁・天井・家具・電気器具の近く
蒸気により、電気器具の火災・故障・変形・変色やシミがついたりすることがあります。

●カーテンなどの近く
吹出口や吸込口がふさがれると故障の原因になります。

●ラジオなどの近く
ラジオ・テレビ・無線機・インターホンなどへの影響のないところまで離して使用してください。
雑音が入る恐れがあります。

●スピーカーや電磁調理器などの磁気のあるものの近く
正常に動作しないことがあります。

●湿度が高い場所（80%以上）
加湿のしすぎは、室内の結露やカビが発生する原因になります。

準備

■脱臭フィルター・集じんフィルターを取りつける

脱臭フィルターについて	●脱臭フィルターは透明ポリ袋に入れた状態で本体の外に入っています。 必ず透明ポリ袋から取り出して本体に取りつけてください。 （性能の低下を防止する為にポリ袋に入れています。ポリ袋に入れたまま取りつけると運転時、大きな音がします。） ●脱臭フィルターの白および青い不織布は破らないでください。 ●ポリ袋に黒い粒（活性炭）が落ちていることがありますが、問題はありません。

●差込みプラグを抜いた状態で行ってください。

1 フィルターカバーをはずす

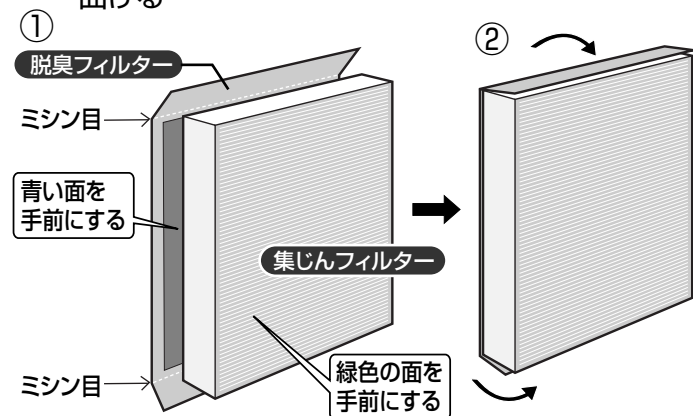
フィルターカバー下部のフック（2カ所）を手前に引きながら上部のツメ（2カ所）をはずす

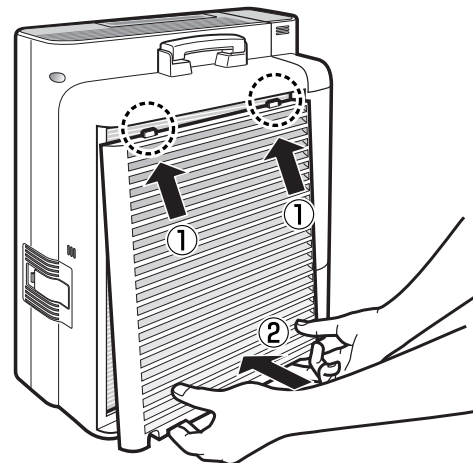
2 集じんフィルターを本体から取り出す

3 脱臭フィルターの上に集じんフィルターを重ねる

①集じんフィルターと脱臭フィルターを重ねる
②脱臭フィルターの不織布をミシン目に沿って折り曲げる

4 フィルターを重ねあわせた状態で本体に取りつける

●集じんフィルターを手前にして取りつけてください。

5 フィルターカバーを取りつける

本体上部の穴（2カ所）にフィルターカバー上部のツメ（2カ所）を差し込み（①）、フィルターカバー下部をカチッと音がするまで押して取りつける（②）

●使用日記入シールを本体の見えやすい所に貼ってください。

使用日記入シールは、脱臭フィルターに同封されている「フィルターセットの取りつけ方」についています。使用開始日を記入して交換の目やすにしてください。

使用開始日　　年　　月　　日

使用日記入シール

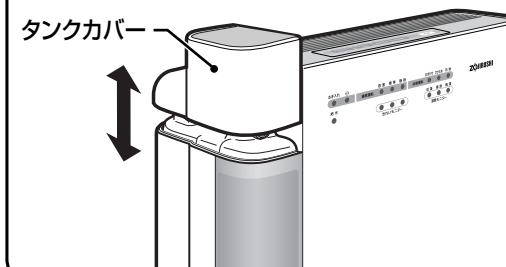
■タンクに水を入れて取りつける（加湿する場合）

●ご使用前にタンクに水を入れてすすいでください。
●空気清浄のみで運転する場合でも必ず空のタンクを取りつけてください。
タンクを取りつけないと内部にほこりがたまることがあります。

1 タンクに水を入れる

①タンクカバーをはずす
②タンクを取り出し、タンクふたをあける
③タンクの口部下まで水を入れてタンクふたをしめる

●タンクふたはしっかりとしめてください。
（水もれの原因）
●本体に直接水を入れないでください。
（ショート・感電の恐れ）
●タンク1杯分で連続約5時間半の加湿ができます。
（「連続運転/急速」室温20℃・湿度30%の場合）

口部下

タンクに入れる水について

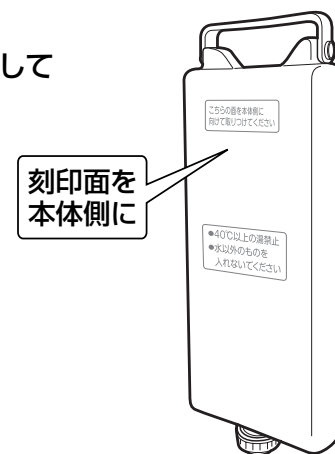
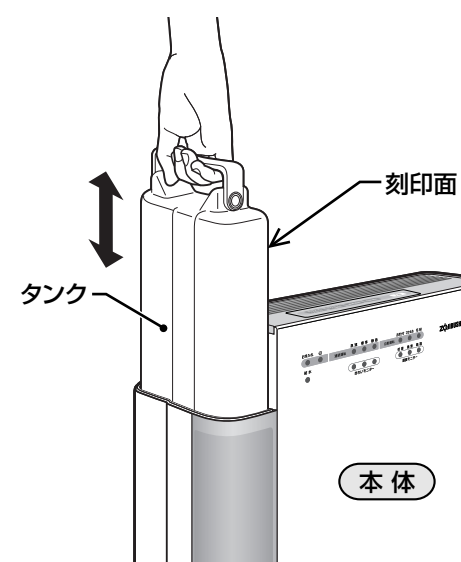
●水は必ず水道水（飲用）を使用してください。
●次のものはタンクに入れないでください。
- アルカリイオン水・浄水器の水・ミネラルウォーター・井戸水など
（カビや雑菌が繁殖する恐れがあります。）
- 40℃以上の湯・化学薬品・汚れた水・芳香剤や洗剤を入れた水・アロマオイルなど
（タンクの変形・故障の原因になります。）

2 タンクを本体に取りつける

①タンクの刻印面を、本体側にして取りつける
②タンクカバーをつける

●タンクの向きを確認して取りつけてください。

タンクカバーをはずす・つける

タンクふたをあける・しめる

タンクを取り出す・取りつける

使い方

●この製品は、室内の空気清浄・加湿を目的としたものです。室内の空気清浄・加湿以外の用途に使用しないでください。

この製品は、タンクに水を入れて運転することで、「加湿」と「空気清浄」を一緒に運転することができます。

タンクに水を入れた場合 ……加湿空気清浄（空気清浄と加湿を同時運転）で運転します。
●加湿のみの運転はできません。

タンクに水を入れない場合 ……空気清浄のみで運転します。
その際、給水ランプが点灯しますが異常ではありません。

1. 差込みプラグをコンセントに接続する

2. 入/切 キーを押す

ブザーが鳴り、運転ランプが点灯し、運転を開始します。

3. 自動運転 キーまたは 連続運転 キーを押し、運転コースを選択する

●前回使用した運転コースは記憶されており、次回使用するときは、前回の運転コースが自動的に設定されます。ただし、差込みプラグを抜くと、「自動運転/おまかせ」に戻ります。

■使用目的別おすすめ運転コース

	使用目的 ＼ 運転コース	自動運転			連続運転		
		おまかせ	ひかえめ	花粉	急速	標準	静音
空気清浄	お部屋の汚れに応じて空気清浄したいとき	○	○				
空気清浄	花粉が気になるとき			○			
空気清浄	一定風量で空気清浄したいとき				○	○	○
空気清浄	すばやく空気清浄したいとき				○		
空気清浄	おやすみのときなど静かに空気清浄したいとき						○
空気清浄＋加湿	快適な湿度を保ちたいとき	○	○				
空気清浄＋加湿	一定量の加湿をしたいとき				○	○	○
空気清浄＋加湿	乾燥が気になるとき				○		
空気清浄＋加湿	おやすみのときなど静かに加湿したいとき						○

●運転中に「ボコボコ」「カチッ」などの音がする時がありますが異常ではありません。
●「加湿」は気化式のため、蒸気は見えませんが異常ではありません。
●運転初期に水に色がつくことがありますが加湿フィルターの色によるもので異常ではありません。
●運転初期にプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用ごとに少なくなります。
●「自動運転/おまかせ・ひかえめ」選択時、お部屋の状態によってはファンの回転が停止することがあります。
●室内外の温度差が大きい冬場や、長時間連続して運転を行うと室内に結露することがあります。
このような場合は運転を停止するか、運転コースを変更してください。
●加湿空気清浄運転中にタンクの水がなくなった場合は、給水ランプの点灯でお知らせしますが、空気清浄のみでの運転を継続します。

自動運転

温度・湿度センサーおよび花粉・ホコリセンサーがお部屋の空気の状態を感知して、自動的に運転を切りかえます。

自動運転 キーを押す度に次のように切りかわります。

●自動運転時は、お部屋の広さや状況などにより湿度が上がりにくいことがあります。
加湿を多くしたいときは、タンクに水を入れ、「連続運転/急速」で運転してください。

おまかせ　ひかえめ

温度・湿度センサーの感知による「加湿」を中心に運転を開始します。
温度・湿度センサーと花粉・ホコリセンサーのWセンサーによる感知を行い、自動的に風量を切りかえて運転します。

おまかせ

「急速」「標準」「静音」「休止」を自動的に切りかえて運転し、約50～60%の湿度を保ちます。

●お部屋の空気の汚れが目立つときは、適湿になっていても最大「急速」運転を行います。
●湿度が70%以上になると、過加湿を抑えるため、花粉・ほこりセンサーが感知しても「急速」運転は行いません。

ひかえめ

「標準」「静音」「休止」を自動的に切りかえて運転し、約40～50%の湿度を保ちます。
おまかせ運転に比べて、加湿量や運転音を抑えて運転します。

●お部屋の空気の汚れが目立つときは、適湿になっていても最大「標準」運転を行います。
●きれいモニターが全点灯した場合など、いずれの場合も「急速」運転は行いません。

●湿度は温度・湿度センサーが感知した湿度のため、湿度計の表示とは異なる場合があります。
湿度モニターの表示は目やすとして使用してください。
●「おまかせ・ひかえめ」運転中に給水ランプが点灯すると、花粉・ホコリセンサーのみの感知による運転に切りかわります。引き続き加湿をする場合は、タンクに水を入れてください。

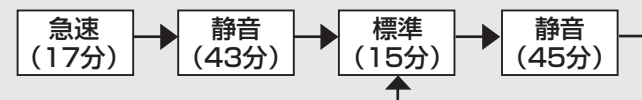
のどバリア機能について

「おまかせ・ひかえめ」運転時は、湿度を保つようにコントロールしながら運転し、お部屋の乾燥からのどを守ります。

同じ湿度でも周囲の温度が高いほど湿度が高く感じ、温度が低いと乾燥しているように感じます。
のどバリア機能は、この状態を温度・湿度センサーの感知により、「温度が高い場合はひかえめに、温度が低い場合は高めに」湿度をコントロールします。

花粉

花粉・ホコリセンサーの感知による「空気清浄」を中心に運転を開始します。（温度・湿度センサーは感知しません。）

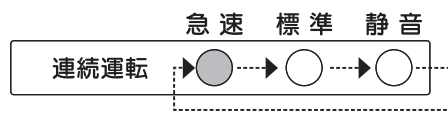
お部屋の湿度に関係なく、次の運転を行います。

●花粉・ホコリセンサーがお部屋の空気の汚れを感知すると、風量が大きくなることがあります。
●「花粉」運転は空気清浄運転です。
タンクに水を入れた場合、お部屋の状況によっては湿度が高くなる場合があります。
●「花粉」運転はファンが連続で動作します。
運転を開始してから36時間操作しないと安全のため自動的に運転を停止します。

使い方 つづき

連続運転

お部屋の空気の状態に関係なく、選択した風量で運転します。

「連続運転」キーを押す度に次のように切りかわります。

連続運転 → 急速 → 標準 → 静音

急速	タバコ※を吸われる場合やふとんの上げ下ろし時など ※タバコの有害物質（一酸化炭素など）は除去できません。
標準	標準の運転をしたいとき
静音	赤ちゃんのいるお部屋や勉強中など静かに運転したいときなど

●連続運転はセンサーの感知に関係なく選択した風量で運転します。
タンクに水を入れた場合、運転コースやお部屋の状況によっては湿度が高くなる場合があります。
●連続運転はファンが連続で動作します。
運転を開始してから36時間操作しないと安全のため自動的に運転を停止します。

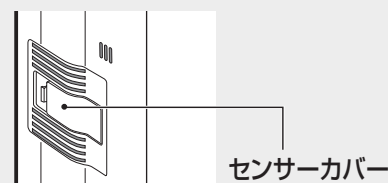
■きれいモニター

花粉・ホコリセンサーで感知した空気の汚れ具合をランプでお知らせします。

空気の汚れ具合	ランプ表示
汚れている	黄緑・橙・赤
↕	黄緑・橙
きれい	黄緑

●運転開始後、約60秒間はランプの表示が変化しますが異常ではありません。
●花粉・ホコリセンサーは、においを感知しません。

花粉・ホコリセンサーはこのような性質をもっています。	感知します	感知することがあります	感知しません
	・タバコの粒子 ・ハウスダスト（花粉・ホコリ・カビの胞子）	・油煙 ・霧状の水滴	・におい ・ガス類

●花粉・ホコリセンサー部に水などをかけないでください。
故障の原因になります。
●必ずセンサーカバーを取りつけた状態で使用してください。
（センサーカバーをはずしていると、花粉・ホコリセンサーが感知しません。）

■湿度モニター

温度・湿度センサーで感知した湿度をランプでお知らせします。

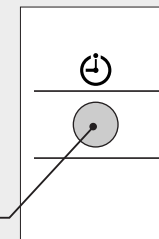
表示	低湿	適湿	高湿
湿度	約40%以下	約40%～60%	約60%以上

●湿度モニターの表示は目やすとして使用してください。
●お部屋の広さや空気の流れにより、湿度モニターの表示と湿度計の表示が異なる場合があります。

■切タイマー

●3時間後に運転を停止します。

運転中に「切タイマー（3時間）」キーを押す　（切タイマーランプが点灯します。）

●切タイマー設定中に、再度「切タイマー」キーを押すと取り消しになります。
●運転コースを切りかえても切タイマーは継続します。

■給水表示について

次のようなときは、給水ランプが点灯してお知らせします。

原因	処置
●タンクの水がなくなった	タンクに水を入れてください。
●トレーが確実に取りつけられていない	トレーを確実に取りつけてください。
●製品の設置場所が水平でない	水平な場所に移動させてください。
●空気清浄単独で運転している（タンクに水を入れていない）	そのまま使用できます。

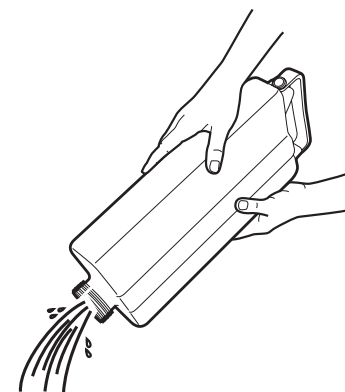
■使用後は…

1.「入/切」キーを押し、運転を停止する

●ブザーが鳴り、運転ランプが消灯します。

2. 差込みプラグを抜く

3. 本体からタンクとトレーを取り出し、残り水をすてる

●長時間使用しないときは、節電のため差込みプラグを抜いてください。
●ぬれた手で差込みプラグを持たないでください。（ショート・感電の恐れ）
●凍結の恐れがあるときは、必ずタンクとトレーの水をすててください。
●本体を傾けて、残った水をすてないでください。（水もれ・故障の原因）

■転倒時自動オフ機能について

この製品には、「転倒時自動オフ機能」がついています。使用中に製品を傾けたり、万一製品が転倒した場合に、「転倒時自動オフ機能」が作動します。
（運転ランプがすべて点灯し、ブザーでお知らせします。）

〈転倒時自動オフ機能を解除するには〉

差込みプラグを抜いた後、再度接続し「入/切」キーを押してください。（運転を開始します。）
●差込みプラグを差し込んでいない状態では、「転倒時自動オフ機能」は作動しません。

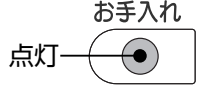
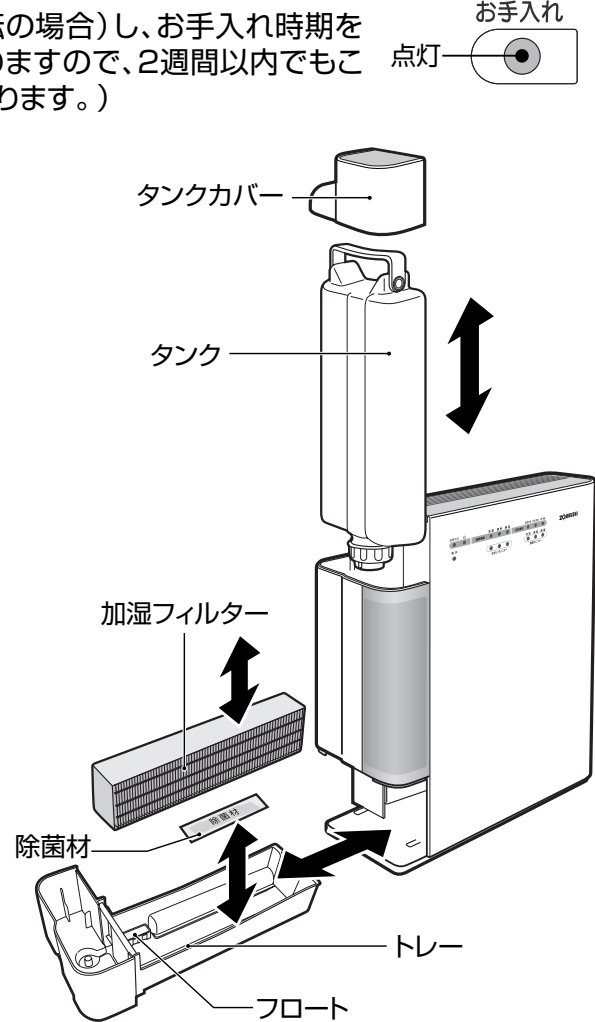
お手入れ

- ●定期的にお手入れを行ってください。
- ●差込みプラグを抜いた状態で行ってください。（けが・感電の原因）
- ●製品に水をかけたり丸洗いしないでください。（故障の原因）
- ●シンナー・ベンジン・アルコール・アルカリ洗剤・漂白剤・ナイロンたわし・ブラシ・みがき粉などは使用しないでください。（変質・変色・傷つきの原因）
- ●化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きに従ってください。

加湿フィルター・除菌材・トレー　2週間に1回

運転して約2週間たつとお手入れランプが点灯（1日8時間運転の場合）し、お手入れ時期をお知らせします。におい・カビおよび加湿性能低下の原因になりますので、2週間以内でもこまめにお手入れしてください。（汚れ度合いは水質によって異なります。）

①タンクカバーをはずし、タンクを取り出す
②トレーをはずす
- ●タンクを取り出さないとトレーははずせません。
- ●トレーはゆっくりとまっすぐにはずしてください。勢いよくはずすと、トレーの水がこぼれることがあります。

③加湿フィルター・除菌材を取り出し、つけ置き洗いする（洗い方は下記参照）
④トレーの水をすて、水洗いする
⑤トレーに除菌材・加湿フィルターの順で取りつける
⑥トレーを本体に取りつける
⑦タンク・タンクカバーを取りつける
⑧「お手入れリセット」キーを3秒以上押し、お手入れランプの消灯を確認する

- ●除菌材（銅）の表面が緑色に変色する場合がありますが、異常ではありません。そのまま使用できます。
- ●フロートなどの部品ははずさないでください。
- ●トレーの細部は綿棒や歯ブラシなどで汚れを落としてください。
- ●トレーの水アカが取れにくいときは、台所用中性洗剤を溶かした水、またはぬるま湯に柔らかい布をひたして、汚れをふき取ってください。
- ●水がこぼれることがありますので本体を寝かさないでください。

加湿フィルター・除菌材の洗い方

①ぬるま湯（約40℃）に台所用中性洗剤を入れて溶かす

台所用中性洗剤量の目やす	水1Lあたり10mL

②①に加湿フィルター・除菌材を入れてつけ置き洗いをする（約30分）
③新しい水ですすぎ洗いをする
④水を入れかえて③を2～3回繰り返す
⑤十分に水切りした後、陰干しし、乾燥させる

ミネラル成分が付着した場合は

加湿フィルターにミネラル成分（カルシウム・マグネシウムなどの白や茶色の固まり）が付着した場合は、以下のお手入れをしてください。

①ぬるま湯（約40℃）にクエン酸を入れて溶かす

クエン酸量の目やす	水3Lあたり30g

②①に加湿フィルター・除菌材を入れてつけ置き洗いをする（約2時間）
③～⑤は上記と同じ手順で行ってください。

●クエン酸は、弊社のポット内容器洗浄用クエン酸『ピカポット』をお使いください。
洗浄用クエン酸は象印製品取扱店でお求めください。
→P.18「交換部品・別売品」参照

本体（外装）

よく絞った布で汚れをふき取る

フィルターカバー

①吸込口のホコリを掃除機で吸い取る
②汚れのひどいときは水洗いし、乾いた柔らかい布でふき取る

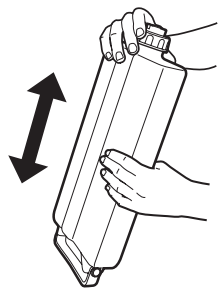
タンク　1日に1回

タンク外面

よく絞った布で汚れをふき取る

タンク内面

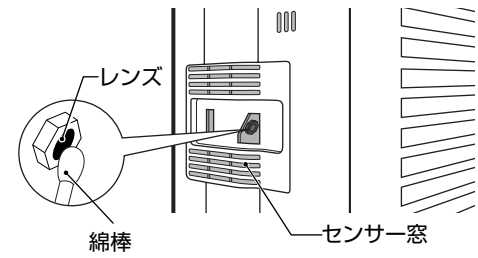
タンク内に水を入れ、タンクふたをしめてタンクをよく振り、水をすてる（2～3回繰り返す）

●汚れがひどいときは、台所用中性洗剤で洗ったあと、水で十分にすすぎ洗いをしてください。

花粉・ホコリセンサー　1年に1～2回程度

①フックを押しながらセンサーカバーをはずす

②市販の綿棒で内部のレンズをふく
（水道水を湿らせた綿棒でレンズをふいた後、乾いた綿棒でレンズをふくと効果的です。）

- ●洗剤・アルコールなどは使用しないでください。
- ●レンズを傷つけないようにふいてください。

③センサーカバーをもとどおりに取りつける
④センサー窓にホコリがたまっているときは、掃除機で吸い取る

電源コード

乾いた布で汚れをふき取る

長期保管するときは…

①各部のお手入れをする
②脱臭フィルターは、ポリ袋などに入れ密封する
③本体をポリ袋などに入れ密封し、個装箱に入れて保管する

- ●お手入れ後は十分に乾燥させてください。水分が残っているとカビや雑菌が繁殖する恐れがあります。
- ●本体は必ず立てたまま保管してください。
- ●電源コードはポリ袋の中に入れて、緩衝材と直接ふれないようにしてください。

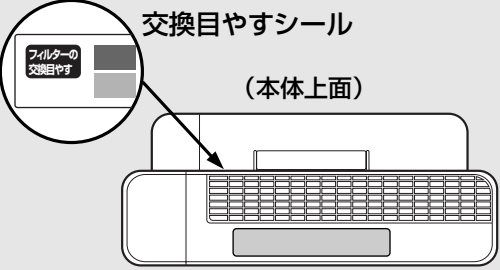
フィルター・除菌材の交換時期について

ご注意

●フィルターカバー・トレーをはずしてもファンは回転します。差込みプラグを差し込んだままフィルターカバー・トレーをはずさないでください。（けがの原因）
●交換時には本体とフィルターカバー・トレーのお手入れも行ってください。（12・13ページ参照）

集じんフィルター・脱臭フィルター

集じんフィルター・脱臭フィルターの交換の目やすは約2年です。
・一般家庭で1日にタバコ5本を吸った場合[JEM1467（日本電機工業会規格）に基づく試験より算出]

●集じんフィルター・脱臭フィルターは洗っても再使用できません。
●集じんフィルター・脱臭フィルターは、必ず同時に交換してください。
●集じんフィルター・脱臭フィルターは専用のものを使用してください。

●集じんフィルターおよび脱臭フィルターの交換時期は、使い方や設置場所により異なります。においやホコリが取れにくくなったときや音が大きくなったときは2年以内でも早めに交換してください。

●次のような場合は、フィルター寿命が大幅に短くなります。
（吹出口からきついにおいがすることがあります。）
- 暖房器具などから発生する炭化系物質（ススなど）を吸った場合
- 調理中に発生する油分を含む煙やにおいを吸った場合
- 床用クリーナーワックス・芳香剤・消臭剤などに含まれる揮発性溶剤成分を吸った場合
- 喫茶店・麻雀荘・理容院・美容院など店舗や事務所に設置の場合
- 長時間、連続運転でよく使用している場合

●集じんフィルターの表面の汚れ具合をときどき点検して本体上面の交換目やすシールの色と同程度まで汚れた場合は、2年以内でも早めに交換してください。

加湿フィルター・除菌材

加湿フィルター・除菌材の交換の目やすは約6カ月（1シーズン）です。
・1日8時間運転の場合

●次のような場合は6カ月以内でも早めに交換してください。
・お手入れをしてもミネラル成分の付着物やにおいが取れない
・傷みや型くずれがひどい　・変色（黒・茶色）や汚れがひどい

お願い

フィルター・除菌材を廃棄するときは、お住まいの地域のゴミ分別方法に従ってください。

部品名	材質
集じんフィルター	ポリエステル・ポリプロピレン
脱臭フィルター	不織布:ポリエステル　脱臭材:活性炭
加湿フィルター	レーヨン・ポリエステル
除菌材	内部:銅　不織布:ポリエステル

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、一度お調べください。

	症状	原因	処置	参照ページ
運転	運転しない	差込みプラグがはずれている	差込みプラグを接続してください。	8
	運転ランプが点灯しない	「入/切」キーを押していない	「入/切」キーを押してください。	8
	運転中に電源が切れた	「自動運転/花粉」と「連続運転」選択時は、36時間操作しないと、安全のため自動的に運転を停止します。		9・10
	運転途中で止まった	「自動運転/おまかせ・ひかえめ」選択時はお部屋の状態により運転を停止することがあります。		9
	製品の振動が大きい	不安定な場所（凹凸のある場所など）に置いている	本体を平らな安定した場所に設置してください。	5
	風量が少なくなってきた	加湿フィルターに水アカやごみが付着している	加湿フィルターのお手入れをしてください。	12
		集じんフィルターが汚れている	新しいフィルターセットと交換してください。集じんフィルターと脱臭フィルターは必ず同時に交換してください。	14
	加湿しない	タンクに水が入っていない	タンクに水を入れてください。	7
		加湿フィルターを取りつけていない	加湿フィルターを取りつけてください。	
	部屋の湿度が上がらない	部屋が適用床面積より広すぎる	適用床面積を参考にしてください。	18
		「自動運転」で運転している 自動運転時は、お部屋の状況に応じてセンサーが感知して運転を切り替えるため、加湿の具合が異なることがあります。	運転コースを変更してください。	9・10
		次のようなときは湿度が上がりにくいことがありますのでしばらく様子をみてから湿度が上がるか確認してください。 ・換気をしているとき ・床がじゅうたん敷きのとき ・窓や出入口の開閉が多いとき ・床・壁・家具が乾燥状態にあるとき		
	タンクの水が減りにくくなってきた（加湿量が減ってきた）	加湿フィルターに水アカやごみが付着している	加湿フィルターのお手入れをしてください。	12
	タンク・トレーの水に色がつく	加湿フィルターの色によるもので、異常ではありません。		
	蒸気が見えない	気化式のため、蒸気は見えません。		

故障かなと思ったとき つづき

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
表示	ブザーが鳴り続け、運転ランプがすべて点灯する	転倒時自動オフ機能が作動した	差込みプラグを抜き、再度接続し、「入/切」キーを押してください。	11
	給水ランプが点灯する	本体が傾いている	本体を平らな安定した場所に設置してください。	11
		トレーが確実に取りつけられていない	トレーを確実に取りつけてください。	11
		タンクに水が入っていないと給水ランプが点灯しますが異常ではありません。空気清浄機として運転します。		11
	お手入れランプが消えない	お手入れ後「お手入れリセット」キーを押していない	お手入れ後「お手入れリセット」キーを3秒以上押してください。	12
	湿度モニターの表示と湿度計の値が違う	湿度モニターの表示は目やすとして使用してください。お部屋の広さや空気の流れにより、湿度モニターの表示と湿度計の値と異なる場合があります。		
	湿度モニターの表示がいつも高い	北側にある部屋や浴室などの水回りに近い部屋には湿気がこもりやすいため、湿度が高い場合があります。		
	タバコの煙などで空気が汚れても反応しない	タバコの煙が流れにくい場所に設置している	設置場所をかえてください。	5
		「連続運転」になっている「連続運転」では汚れに関係なく選択した風量で運転します。		9・10
		花粉・ホコリセンサー部が汚れている	花粉・ホコリセンサー部のお手入れをしてください。	13
	運転開始時にきれいモニターのランプ表示が変化する	運転開始後、約60秒間はきれいモニターのランプ表示が変化しますが異常ではありません。		10
	においがするのにきれいモニターが反応しない	花粉・ホコリセンサーはにおいを感知しません。においが気になる場合は「連続運転」で運転してください。		10
	きれいモニターがなかなか変化しない（「きれい」にならない）	花粉・ホコリセンサー部が汚れている	花粉・ホコリセンサー部のお手入れをしてください。	13
		汚れを感知しにくい場所に設置している	設置場所をかえてください。	5
		部屋の広さなど使用環境により、「きれい」になるまでに時間がかかることがあります。		

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
におい	においがする においが取れにくい においが気になる	集じんフィルターが汚れている	新しいフィルターセットと交換してください。集じんフィルターと脱臭フィルターは必ず同時に交換してください。	14
		脱臭フィルターが汚れている		
		加湿フィルターに水アカやごみが付着している	加湿フィルターのお手入れをしてください。	12
		トレーが汚れている	トレーのお手入れをしてください。	12
		水が古くなっている	タンク・トレーの水を入れかえてください。	7・13
		フィルターカバーの吸込口が汚れている	フィルターカバーのお手入れをしてください。	13
		脱臭フィルターを取りつけていない	脱臭フィルターを取りつけてください。	6
		調理中に発生する油分を含む煙やにおいを吸った	新しいフィルターセットと交換してください。集じんフィルターと脱臭フィルターは必ず同時に交換してください。	14
		床用クリーナーワックス・芳香剤・消臭剤などに含まれる揮発性溶剤成分を吸った		
音	音が大きくなってきた	集じんフィルターが汚れている		
		脱臭フィルターが汚れている		
	運転中に「ボコボコ」と音がする	タンクからトレーに水が供給される音で異常ではありません。		
	運転中に「カチッ」と音がする	マイコンが制御している音で異常ではありません。		
	風が極端に少なく音が大きい	脱臭フィルターを透明ポリ袋に入れたままにしている	脱臭フィルターを透明ポリ袋から取り出して取りつけてください。	6

仕様

型名	PD-AS12			
定格	交流100V　50/60Hz			
運転コース	連続運転			
	急速		標準	静音
消費電力(W)	39/41		31/31	18/16
風量(m³/分)	2.8/2.9		2.1/2.1	0.9/0.8
適用床面積（目やす）	空気清浄	空気清浄能力	～12畳（20m²）	
	空気清浄＋加湿	空気清浄能力	～12畳（20m²）	
		加湿能力	木造和室～7.5畳（12m²）/プレハブ洋室～12畳（20m²）	
加湿量	430mL/h（「連続運転/急速」時）			
タンク容量	約2.5L			
電源コード	1.8m			
外形寸法（約cm）	幅39.5×奥行17.5×高さ45.5			
質量（電源コード含む）	約6.0kg			

●適用床面積（空気清浄能力）は、日本電機工業会規格JEM1467で定められた基準です。
30分できれいにできる部屋の大きさを表し、空気清浄機の能力を示します。
●適用床面積（加湿能力）は、日本電機工業会規格JEM1426に基づき、プレハブ住宅洋室の場合を最大適用床面積とし、木造和室の場合を最小適用床面積としたものです。
ただし、壁・床の材質・部屋の構造・使用暖房器具等によって適用床面積は異なりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
●加湿量は、室温20℃・湿度30%・水温20℃の場合です。
●運転を停止していても、差込みプラグが差し込まれていると約0.4Wの電力を消費します。
●外形寸法の高さは、ハンドルを収納した場合の寸法です。
●日本国内交流100V専用（定格100V以外の電源では使用できません。）

交換部品・別売品

●損傷した場合は、新しい部品と交換（有償）してください。
●お買い求めの際には、製品の型名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
（ホームページでのご購入はP.19参照）

部品名	型名
交換フィルターセット（集じんフィルター・脱臭フィルター）	PD-FA01-J
交換用加湿フィルター（加湿フィルター・除菌材）	PD-HA01-J
ポット内容器洗浄用クエン酸 ピカポット（30g×4包入）	CD-KB03-J

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理をお申しつけされるとき

≪保証期間中≫
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。
保証書の記載内容に基づき修理いたします。

≪保証期間を経過しているとき≫
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 6年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答などでお困りの場合、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター　0570-011874
ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます

受付時間　9:00～17:00　月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）

●携帯電話・PHS・IP電話など（ナビダイヤルが利用できない電話）でのお問い合わせ・・・・・・・・・・・・・・・Tel（06）6356-2451
●ファクシミリでのお問い合わせ・・・・・Fax（06）6356-6143
製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

ホームページのご案内
消耗品・部品のご購入専用ページ　http://www.zojirushi-de-shopping.com/